

児湯ブロック部会の取組

本部会は、東児湯地区特別支援教育研究会、西都市特別支援教育研究会、児湯るびなす特別支援学校が連携して研究を進めている。

本年度は、役員会を2回実施し、8月に児湯ブロック研修大会を開催した。児湯ブロックにおける特別支援教育を推進するとともに、会員相互の資質の向上を図るよう努めた。

1 主な研究・活動

児湯ブロック研究大会

- (1) 期日 令和元年8月7日(水)
- (2) 場所 新富町総合交流センター「きらり」1階大集会室
- (3) 参加者 124名
- (4) 大会主題 「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援の充実」
- (5) 研究発表 「一人一人の教育的ニーズに応え、持てる力を高める特別支援」
高鍋町立高鍋東小学校 甲斐恵理子教諭
- (6) 講演 「教室で困っている児童生徒への指導・支援」
宮崎県教育庁特別支援教育課課長補佐 横山貢一氏



【研究発表】

- (7) アンケートより(抜粋)
 - ・ 具体的でわかりやすく、すぐに実践に活かせる内容で、有意義だった。
 - ・ 自分の指導・支援について確認する良い機会になった。
 - ・ 学びのある研修会で、特別支援の意味を理解した1日になった。
 - ・ 今後も、実践事例が多く聞け、自分の学校や学級で試してみようと思える内容だとありがたい。

【講演】

2 成果と課題

- 児湯ブロック研究大会の研究内容、講演内容ともに、通常学級で困り感をもった児童・生徒の対応についても触れることで参加者の間口が広がった。
- 児湯ブロック研究大会の後(当日の午後)に、同じ会場で、県立児湯るびなす支援学校主催のセミナーが実施され、参加者が出張しやすい期日設定となった。
- ブロック役員会での審議内容について、事務局から各地区へ早めに連絡をし、協議できるようにした。事務局は、計画的に運営していく必要がある。

